

佐世保市

地域移行・定着支援事業

佐世保市では、自立支援協議会の専門部会である精神地域支援部会を令和3年に設置し、地域課題を抽出・共有し、解決に向けた協議を行っています。また、当事者会であるふたばの陽の育成を支援し、当事者が当事者を支える仕組みづくりの検討を行っています。

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

佐世保市（311町）



取組内容

- ・地域移行・定着支援事業（精神地域支援部会、関係者連絡会・研修会）
- ・当事者支援事業

基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数（R6年4月時点）	1	か所	
市町村数（R6年4月時点）	311	市町村	
人口（R6年4月時点）	230,873	人	
精神科病院の数（R6年4月時点）	6	病院	
精神科病床数（R6年4月時点）	1,076	床	
入院精神障害者数 （R4年6月時点）	合計	972 人	
	3か月未満（%：構成割合）	122 人	
		12.6 %	
	3か月以上1年未満 （%：構成割合）	153 人	
		15.7 %	
	1年以上（%：構成割合）	697 人	
71.7 %			
退院率（R4年6月時点）（長崎県速報値）	うち65歳未満	287 人	
	うち65歳以上	685 人	
	入院後3か月時点	54.0 %	
相談支援事業所数 （R5年7月時点）	入院後6か月時点	%	
	入院後1年時点	83.1 %	
	基幹相談支援センター数	0 か所	
保健所数（R6年4月時点）	一般相談支援事業所数	7 か所	
	特定相談支援事業所数	22 か所	
	（自立支援）協議会の開催頻度（R5年度）	1 か所	
（自立支援）協議会の開催頻度	2 回/年		
精神領域に関する議論を行う部会の有無	有・無		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R6年4月時点）	都道府県	有・無	か所
	障害保健福祉圏域	有・無	1 / 1 か所/障害圏域数
	市町村	有・無	/ か所/市町村数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

1. 保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置

協議会名：佐世保市地域自立支援協議会 精神地域支援部会

開催回数：2回/年

参加者：精神科医師、精神科病院PSW、精神科訪問看護ステーション、相談支援専門員、福祉作業所の管理者、GHの管理者、当事者会の代表、家族の会代表、保健所長、福祉事務所長

協議内容：協議の中で地域課題を抽出・共有し、課題解決に向けて協議を行う

2. ピアサポートの活用に係る事業

開催回数：ピアサポーター講座1回/年開催（5回シリーズ）

内容：①市内のピアサポートグループと共同して、活動と一緒にを行うピアサポーターを養成する

②当事者会のPR活動として、看護学生と障害者サービス事業者への研修会で講話を行う

3. 精神障害者の地域移行・地域定着関係職員に対する研修に係る事業

開催回数：2回/年

内容：関係機関職員へ地域移行支援の質の向上を目的に研修を行う

参加者：相談支援事業所、精神科病院職員、訪問看護職員、グループホーム職員等

4. 地域ケア個別会議の実施

開催回数：3回/年

内容：グループホーム入所中で、一人暮らしを希望している事例について、自立を目的として関係者（相談支援事業所、GH、就労支援事業所等）とアドバイザー（薬剤師、作業療法士、住宅支援法人、生活支援コーディネーター、社協等）で事例検討を行う。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

・平成19年度～

県業務委託で佐世保市において地域移行・定着支援事業開始。協議会を立ち上げて個別ケース支援を開始。

・平成24年度～

個別ケース支援は、総合支援法の障がい福祉サービス、協議会で体制整備や課題解消の方策を検討。

・平成27年度～

県業務委託終了。協議会終了。体制整備と課題解消の取り組み強化、連絡会開催(参加:相談支援事業所、検討内容:事例対応について共有)

・平成28年度～令和元年

連絡会を開催(参加:相談支援事業所、病院、訪問看護、議題に応じて地域包括支援センター、当事者、住宅仲介、検討内容:情報共有、事例対応、課題、対策を検討)

・令和元年度

精神障がい者にも対応した地域包括システム代表者準備会開催。(参加:精神科病院、精神科訪問看護ステーション、PSW、GH管理者、相談支援事業所、当事者会、家族会の代表者と保健所長、福祉事務所長)。保健・医療・福祉の協議の場の設置となる。

・令和3年度

自立支援協議会の専門部会である精神地域支援部会を設立し、第1回の協議を実施

・令和4～5年度

精神地域支援部会で地域課題を抽出・共有し、課題解決の協議を実施。「住まい」の課題解決のため、GHに支援内容や取組活動等の調査を行い、関係機関がGH入所希望者をスムーズに入所につなぐために使用するGH一覧表を作成。

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜昨年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (昨年度当初)	実績値 (昨年度末)	具体的な成果・効果
①精神地域支援部会の開催と地域課題の共有と解決に向けた協議	2	2	地域自立支援協議会の専門部会となる地域支援部会において、地域課題の抽出・協議を行い、課題解決のための取り組みを検討することができた。
②関係者連絡会・研修会の開催	2	2	にも包括の構築と地域移行支援の具体的な展開についてや、住み慣れた地域で暮らしていけるよう基本的な精神疾患の薬の講話などを関係機関向けに開催し、地域移行支援・地域定着支援の質の向上に役立った。
③ピアサポーター講座の開催	1	1	講座を実施して新たなピアサポーターを当事者会の運営委員会のメンバーとして迎えることができた。ピアサポーターが障がい福祉サービス事業所研修や看護学生実習で講話を行い、地域での活用につながった。
④地域ケア個別会議の実施		1	自立を目的として、支援者とアドバイザーで事例検討を行うことで、対象者を取り巻く関係者が自立に向けたアセスメント、マネジメントができた。事例検討を通して、関係者間のネットワークづくりの場となった。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

1. 佐世保市で自立支援協議会の専門部会である精神地域支援部会があり、医療、福祉、行政、関係機関との協議の場がある。
2. 関係者連絡会・研修会を通して、地域移行支援の質の向上を図ることができる。
3. ピアサポータ講座を実施することで、当事者同士で支えあう人材を育成することができる。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
協議の場で医療、障害福祉・介護、保健・予防、住まい、社会参加の分野で地域課題が抽出されている	精神地域支援部会で抽出された地域課題について協議を行っていく	行政	協議の場の開催
		医療	協議の場での意見交換、所属先への情報提供
		福祉	協議の場での意見交換、所属先への情報提供
		その他関係機関・住民等	協議の場での意見交換、所属先への情報提供
ピアサポーターの活用が十分に図られていない	ピアサポーターの養成とともに、当事者会の支援と活用場の検討を行っていく	行政	当事者会の支援と活用場について検討
		医療	活用場の提供
		福祉	活用場の提供、支援
		その他関係機関・住民等	ピアの活動について知る

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値(令和 5年度末)	見込んでいる成果・効果
①協議の場である精神地域支援部会の開催	2	2	地域課題の共有、解決に向けた取り組みの協議
②関係機関職員への研修会の開催	2	2	関係機関の地域移行支援の質の向上
③ピアサポーター講座の開催	1	1	ピアサポーター同士で支えあう人材の育成
④地域ケア個別会議の実施	3	3	支援者が自立に向けた支援ができる

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

障がい福祉課が精神科病院、障害福祉サービス事業所、保健所、福祉事務所、当事者、家族等が参画する自立支援協議会の専門部会である精神地域支援部会(協議の場)と連携しながらにも包括の構築を推進

所管部署名	所管部署における主な業務
障がい福祉課	自立支援給付、地域生活支援事業、障害児支援を担当。また、協議の場を運営

連携部署名	連携部署における主な業務
地域福祉推進課	地域包括町内推進会議開催、重層的支援体制整備事業、地域福祉計画推進、福祉避難所及び避難行動要援護者、その他福祉に係る特命事項に関すること

各部門の連携状況		強み・課題等
保健		
医療		
福祉		
その他関係機関・住民等		

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項等(課題・強み等)
精神地域支援部会	・保健、医療、福祉関係機関、行政担当者、当事者、家族会、民生委員等	2回/年	精神障がい者が地域で安心して自分らしく生活するために、地域課題を抽出・共有し、解決に向けて協議を行う	
精神地域支援部会作業部会	・精神地域支援部会の中の、医療、福祉関係機関、行政関係機関のメンバー	必要時実施	地域支援部会で出された取り組みの具体的な内容について検討	

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

- ・精神地域支援部会は年2回の実施のため、地域課題について意見交換はできるものの具体的な取り組みまでの話し合いが難しい。事前に、事務局や作業部会で、ある程度会議の流れや提案を決めてから協議の場を開催している状況である。
- ・部会のメンバーに精神科医師が参加していたが、委員の交代があり、今後の参加が難しくなっている。

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（長期）

事業利用予定年数：令和 年度まで

長期目標	・市の密着アドバイザーを選定して、にも包括構築のための取組と一緒に検討して実施していく。
------	--

年度	実施内容	具体的な取組
R6年度		
R7年度		
R8年度		
R●年度	事業利用終了、自治体で推進	

9 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（今年度）

短期目標 (今年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内精神科医療機関へアンケート調査を行い、地域移行を進めるための手立てとする。 ・地域ケア個別会議を実施して、自立のための事例検討を行い、関係機関のネットワークづくりの場とする。 	
スモール ステップ	<ul style="list-style-type: none"> ・市内精神科医療機関へ地域移行に関するアンケート調査を行い、分析後に協議の場で協議を行っていく。 ・地域ケア個別会議を実施して、市内の事業所へ会議について周知を図る。 	
時期(月)	実施内容	具体的な取組
R6年8月	地域課題の整理、共有、 解決に向けた協議	協議の場である自立支援協議会の専門部会である精神地域支援部会の開催
R6年9月 R6年10月	地域ケア個別会議の実施 研修会の開催	自立を目的として、支援者とアドバイザーで事例検討を行う 関係機関へ地域移行支援事業に関する職員の質の向上に向けた研修会を開催
R6年12月 R7年1月	地域ケア個別会議の実施 地域課題の整理、共有、 解決に向けた協議	自立を目的として、支援者とアドバイザーで事例検討を行う 協議の場である自立支援協議会の専門部会である精神地域支援部会の開催
R7年1～2月	研修会の開催	関係機関へ地域移行支援事業に関する職員の質の向上に向けた研修会を開催
R7年2月	地域ケア個別会議を実施	自立を目的として、支援者とアドバイザーで事例検討を行う